

ワードやエクセルなどのソフトをアプリケーション(略してアプリ)と呼びますが、アプリを「スタートボタン」から起動させると画面にアプリ・ウィンドウがあらわれ、タスクバーボタンが画面下に表示されます。このアプリとタスクバーボタンは対応していて、起動させると表示され、終了させると消えます。

【タスクトレイ】

画面下の右端に時計が見えている部分があります。この一連の「絵文字」群を指します。音の絵文字だったり、プリンタの絵文字だったりしますが、使用者が意識しなくてもサービスとして起動しています。

【タスクバー】

画面の下に表示される帯状の部分。

左から「スタートボタン」、「タスクバーボタン」「タスクトレイ」と並んでいます。



図6

【デスクトップ】

パソコンを起動させた時に最初に表示される画面で、全てのアプリを「最小化」した時にも表示されます。「机の上」と言う意味で、ここに色々な書類が開かれるというイメージです。携帯電話で待ち受け画面と呼ばれているのと似ています。

【フォーカス(焦点)が合う、アクティブ】

たくさんのウィンドウがある時、見えていても操作の対象にならない場合があります。たくさんのウィンドウのうち、操作対象のアプリや場所を焦点が合っていると、アクティブと言います。

【最大化】【最小化】【元に戻す】【閉じる】ボタン

アプリを起動させていると、ウィンドウの右上端に三つ表示され、ウィンドウ枠の大きさを制御します。図6をご覧ください。

左端に「最小化」ボタンがあり、右端に「閉じる」ボタンが配置されます。

画面領域には制限がありますので、すぐに使用しないアプリは「最小化」を選択して画面下で待機状態にします。使用する時は、そのタスクバーボタンから画面に呼び出すことができます。

【タイトルバー】

起動したアプリはウィンドウ枠を持ちます。その一番上の帯状部分を呼びます。

この部分をドラッグ(後で説明します)するとウィンドウの位置を移動させることができます。

【進む】【戻る】ボタン

一つ先の画面、一つ前の画面の履歴がある時、その画面を表示します。

【アドレスバー】

今、表示させている場所をウィンドウズ表示方式で示します。

【検索ボックス】

この箱の中に探したい単語又はその一部を入力して保存してある資料を検索します。


【ナビゲーションウィンドウ】

ハードディスクに保存されている資料は階層式に、かつ分類されています。その分類を切り替えて必要な資料を閲覧するために用意されています。この部分を切り替えて、全体の中から必要な資料を探します。

③ マウス (右利きの人の場合)

マウスとは小さな入力装置です。

- 「1」手のひら
- 「2」親指
- 「3」薬指
- 「4」人差し指
- 「5」中指



講座では
今回、有線の光学式マウスです

表側に押ボタンが二つとその間にホイールと呼ばれる「車」の形をしたものが付き、裏に位置を知らせるボールが付いています。その形が「ねずみ」に似ているので「マウス」と呼ばれています。机上を滑らせると裏のボールが回転して、移動方向、移動速度などのデータがコンピュータに入力されます。入力データに伴い、画面上にマウスの動きに合わせた印(マウスポインター)が表示されます。画面上の特定の位置でボタンを押すことによりコンピュータと対話することになります。

裏にボールではなく発光器と受光器を持ち、光学的に移動方向や移動速度を検出する光学式マウスや、コンピュータとの接続にケーブルを使用しないワイヤレス式マウスなどもあります。

図7、マウスを上から見た図

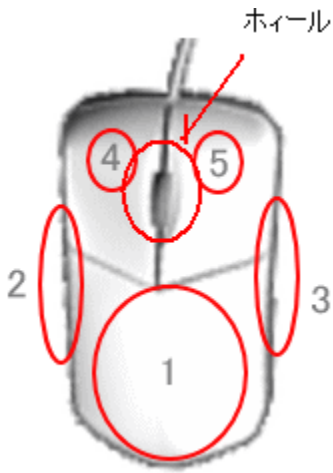


図8 左ボタンと右ボタン

マウスの使い方

マウスを机上で滑らせる時は、図7、の「2」親指と「3」薬指で両側から挟んで画面上のマウスポインターを見ながらゆっくり動かします。

マウスにはボタンが二つあります（図8）が、左と右では役割が違います。左右ボタンのボタンでは、左が主ボタンで単にボタンと言えば、左ボタンを指します。主の左ボタンを図7、の「4」人差し指で、副の右ボタンは図7、の「5」中指で操作します。ホイールは「4」人差し指で上下に回します。

なかでも、「クリック」と「ダブルクリック」は使用頻度が高いので使い方を良くマスターして下さい。

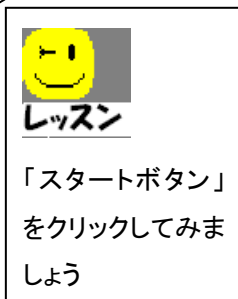
A、マウスポインター

マウスを滑らせた時、一緒に動く印をマウスポインターと呼びます。その時の状態に依り、手の印だったり、白い矢印だったり、砂時計だったり、「I」のような形状だったりします。

B、ポイント

マウスを滑らせて、目的物にマウスポインターの左上部分(矢印)を合わせることをポイントといいます。

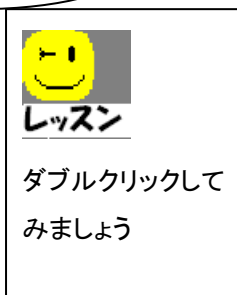
C、クリック



マウスでポイントした状態から人差し指で左ボタンを一度、素早く押してすぐに離します。クリック(click)は「カチッと音がする」意味ですから、カチッという感じで押してすぐに離します。

練習です。
画面左下にある「スタートボタンをクリックしてみます。起動できるアプリが一覧として立ち上がり表示されます。もう一度、同じ部分をクリックします。もとに戻ります。

D、ダブルクリック



クリックをすばやく2回行う操作です。人差し指をカチッカチッと2回押してすぐ離します。少し早めにカチッカチッとさせます。上記のクリックは一回の操作ですが、この二回クリックするダブルクリックと区別する意味でシングルクリックとも言います。ここで、ダブルクリックの練習をしてみましょう。以下の順にクリックします。
・[スタート]→[コントロールパネル]→[ハードウェアとサウンド]の[マウス]→[マウスのプロパティ]が開きます

次に図9にある○で囲んだ部分をダブルクリックします。
うまく、開いたり閉じたりすれば、ダブルクリックはOKです。
左の画面を閉じるには、下にある「キャンセル」ボタンをクリックします。

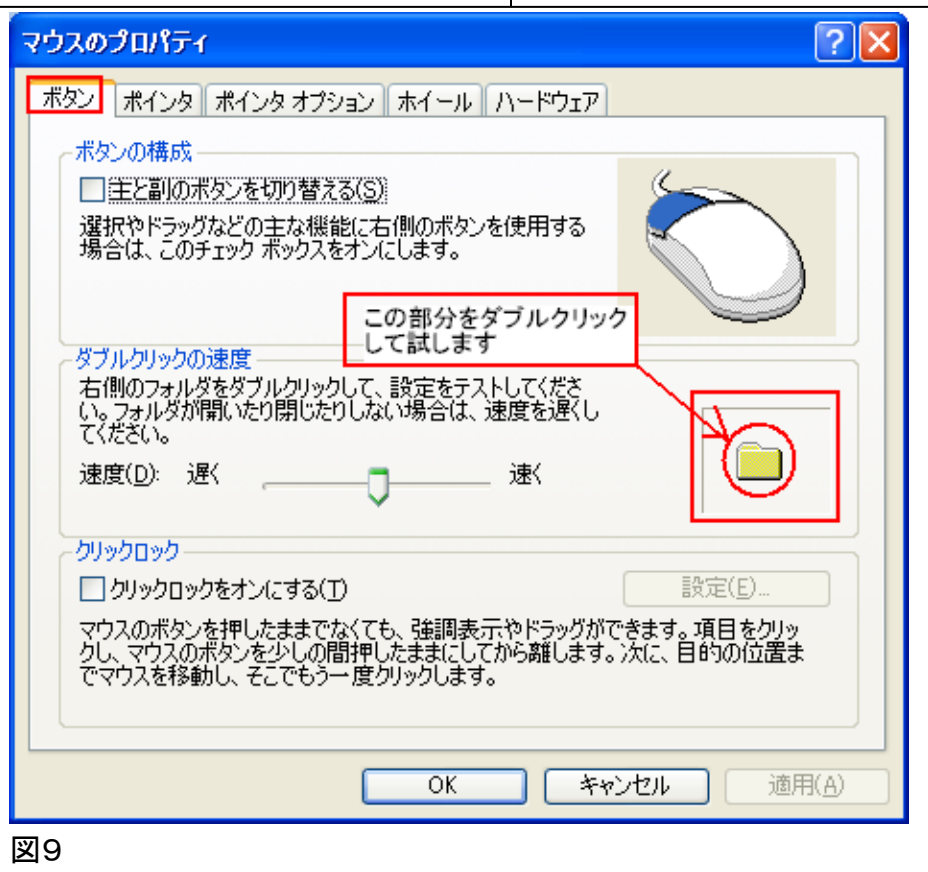



図9

E、右クリック	マウスの右ボタン(中指)を使います。操作方法はクリックと同様に、マウスの右ボタン(中指)でカチッとすばやく押し離します。
E、ドラッグ	ドラッグは、マウスの左ボタンを押したままマウスを滑らせる操作をいいます。押しっぱなしにすることで対象物をつかんだ状態になり、マウスを動かすと持ち運んでいるような引きずったイメージになります「ドラッグ(drag) = 引きずるという意味」
F、ドラッグ アンド ドロップ	上記E、と同じような動作ですが、ドラッグしてから必要な場所で左ボタンを離して落とす(ドロップ)ことまでを含めることを言います。
G、選択(状態に)する	「対象を選択する」と言う言い方をします。この場合は、上記のドラッグを利用して、文字とか、画像とかを反転表示させます。この状態にしてから、さらにその反転表示させた「選択対象」に操作を加える場合があります。
H、カーソル	「カーソル」は「プロンプト」ともいわれますが、文字入力している時など、点滅状態で次の入力位置を示します。
マウス練習 (ゲーム)	ゲームでマウス操作の練習をしましょう。



レッスン

ゲームでマウス操作の仕上げ

「ソリティア」の起動は、以下の順にクリックします。

・[スタート]→[すべてのプログラム] →[ゲーム] →[ゲーム エクスプローラ] の順にクリックし[ソリティア]をダブルクリックすると起動します。

[ソリティアの概要]

ソリティアの目的は、山札のカードを使い切り、すべてのカードを組札に積み重ねることです。組札には、エースからキングまで、同じマークのカードを数字の小さい順に積み重ねていきます。

【ゲームの遊び方】

[ゲーム] メニューの [カードを配る] をクリックします。

配られた 7 列の場札の一番上にエースのカードがあればダブルクリックして、ウィンドウの右上の組札に移します。その後、移動できるカードを移し、組札に積み重ねていきます。組札にはダブルクリックすると移動します。

場札で移動できるカードがなくなったら、山札の裏側部分をクリックしてカードをめくります。

【ルール】

組札には、数字の小さい順に同じ種類を乗せていきます。

場札は数字の大きい順に赤札と黒札を交互に乗せます。

組札に4種類の全カードが移動できると「上がり」です。

カードが循環して、どうしても、上がれない時は、最初からやり直します。

図、10



「上がり」にまで進めましたでしょうか。

今回の講義はこれで終了です。次回また、宜しくご参加のほどお願いします。

たいへんにお疲れ様でした。